

授業科目 高齢期障害作業療法学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
能村 友紀		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 1) 高齢者を取り巻く社会的問題の現状と背景を理解する 2) 高齢者の心身の特性・障害を理解できる 3) 高齢者に対する作業療法のプロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を習得する					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 高齢者の身体機能の評価ができる 2. 高齢者の精神心理機能の評価ができる 3. 高齢者の生活障害の評価ができる 4. 高齢者に対する作業療法実施における問題点を列挙できる 5. 高齢者に対するリハビリテーション、OTの役割、OTのプロセスを説明できる 6. 高齢者に対する作業療法のプログラムを立てることができる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢者の評価 観察評価			1	講義（能村）
2	高齢者の評価 身体機能評価			1	講義（能村）
3	高齢者の評価 精神心理機能評価			2	講義（能村）
4	高齢者の評価 生活障害			3	講義（能村）
5	高齢者の作業療法援助法（1）			4～5	演習（能村）
6	高齢者の作業療法援助法（2）			4～5	演習（能村）
7	高齢者の作業療法援助法（3）			4～5	演習（能村）
8	作業療法の実際 心身機能障害・生活障害と作業療法（1）			1～5	講義（能村）
9	作業療法の実際 心身機能障害・生活障害と作業療法（2）			1～5	講義（能村）
10	作業療法の実際 認知症と作業療法（1）			1～5	講義（能村）
11	作業療法の実際 認知症と作業療法（2）			1～5	講義（能村）
12	障害高齢者の評価演習 情報収集、評価			1～3	演習（能村）
13	障害高齢者の評価演習 問題点の抽出			4	演習（能村）
14	障害高齢者の評価演習 目標設定			5～6	演習（能村）
15	障害高齢者の評価演習 プログラム			6	演習（能村）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		高齢期作業療法学	小川恵子編	医学書院	2004・3,600円
参考書		老年期の作業療法	浅海奈津美、守口恭子	三輪書店	2003・3,300円
		高齢者のための知的機能検査の手引	大塚俊男 他	ワールドプランニング	2001・1,457円
		痴呆性老人のための作業療法の手引き	植田孝一郎 他	ワールドプランニング	2004・2,524円
		標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分	大内 尉義	医学書院	2005・4,410円
		野 老年学			
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席点 レポート 発表 期末試験					